



すだ 須田こうへい

県政レポート

立憲民主党・民権クラブ 横浜市旭区政務活動事務所

〒241-0022 旭区 鶴ヶ峰2-9-11 ビッグフィールド2F-2

TEL:045-444-9444 FAX:045-444-9445

E-mail:sudaname.net@gmail.com

須田こうへい プロフィール

- ◇神奈川県議会議員(横浜市旭区選出)…30,961票でトップ当選
- ◇所属党派:立憲民主党・民権クラブ
- ◇早稲田大学商学部卒業 / 巣鴨学園卒業
- ◇元・江田憲司公設秘書、古賀茂明Forum4メンバー
- ◇コンサル会社を経て、輸入車ディーラー取締役。後に保険代理店代表。
民間経営者×秘書経験の「現場力」

- ◇政治信条:「改革はするが、戦争はしない」
「政治は社会的弱者のためにある」
- ◇横浜へのカジノ誘致にNO!…横浜市民との公約を実現!!
- ◇学童保育、ボーイスカウト・ガールスカウト、女性活躍、
武道振興(※柔道初段)、海外親善等の議連所属
- ◇横浜市青少年指導員経験 / PTA会長 / 南本宿町在住

県民の安心・安全につながる新型コロナウイルス感染症対策を!

①

無料です

例えば…
クラス全員で食べる
中学校給食
があったらいいね!

神奈川県内では多くの自治体で実現しています!

県政レポートに添付のハガキで、県民の皆様からのご意見・ご要望を頂戴しています。

②

前回レポートで、「DX×コロナ対策」として、
誰ひとり取り残さない新型コロナ感染症対策としての
「オンライン診療の拡充」を記載したところ…

過日、ご高齢者から「オンライン診療よりも外来診療の方が安心できる」とのお声を頂戴しました。

③

抗原検査キット
の備蓄も大切です

感染リスクが低い若い世代がオンライン診療を利用することで医療ひっ迫を防ぎ、重症化リスクの高いご高齢者が発熱外来を利用することが出来ます!

④

ワクチンの効果や
副反応についても、
適切な情報公開が
必要です。

引き続き、県政が見える化 (=徹底した情報公開)
し、地域の声を反映させてまいります!

過日、今年度所属しております厚生常任委員会に加え、新たに「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」の委員に選出されました。第8波、また、今後さらなる感染の波が到来しても、社会経済活動の継続と医療提供体制の維持を両立させていかなければなりません。

感染拡大前、補正予算に先立つ令和4年9月の本会議で「誰ひとり取り残さない新型コロナウイルス感染症対策としてのオンライン診療の拡充について」を提言し、その後、県の感染症対策に正式に組み込まれました。重症化リスクの低い方にオンライン診療を活用していただくことで、医療ひっ迫を抑えられれば、高齢者・基礎疾患をお持ちの方が発熱外来を受診できるようになり、安心・安全につながります。

「オンライン診療のさらなる推進について」が会派代表質問に

須田が9月に本会議で提案しました、コロナ対策におけるオンライン診療の推進について、立憲民主党・民権クラブの代表質問として採用され、私も代表質問作成に携わりました。須田質疑後の、9月補正予算で、オンライン診療を開始、拡充する医療機関に対し、情報通信機器等の初期費用を補助する制度が整えられました。

一方、この冬の第8波では、1日当たりの外来受診者数が最大約35,000人に達し、現状では受診枠が5,000人分不足すると推計されています。県では、県医師会や薬剤師会と連携し、「地域オンライン診療クリニック」を、県内に数か所設置する準備を進めています。また、これまで院内のゾーニングが行えないなどの理由で、発熱診療が困難であった医療機関に対しても、オンラインで患者に対応していただけるよう働きかけることとなりました。

会派代表質問2巡目では赤野県議の補助者を務めました。「公民共創」(県と民間とのさらなる連携)等について、黒岩知事との質疑がなされました。



厚生常任委員会視察…地域包括システムの構築に向けて

過日、厚生常任委員会で、先進事例の視察をしてまいりました。保育園はそもそも共働き世帯しか利用できないため、病児対応が大変なのですが、富山市の「まちなか総合ケアセンター」では送迎型の病児保育事業をしており、スタッフが園から病院への対応をした上、センターで両親の帰宅まで預かっています。タクシー代も3/4を補助しています。また、産後ケアにも力をいれており、産後ママに宿泊型サービスを提供しています。

金沢市の「シェア金沢」では、児童施設、サービス付き高齢者住宅、障がい者施設、学生向け住宅等があてごちゃまぜに配置された街になっています。通路をあえて細くし、お互いに道を譲り合ったり声をかけあったりするなど、利用者が自然とコミュニケーションをとるようにデザインされています。子ども達が公園で遊ぶには、一度靴を脱ぎ、高齢者さんや障がい者さんが過ごすフロアを抜けて中庭に出る、といった具合です。学童の子どもが高齢者とふれあう、お客様からボランティアの申し出がでる、など相乗効果が生まれており、地域包括ケアシステムの好事例です。いずれも廃校跡地等の再開発であり、旭区政にも参考となる取り組みです。



県立公園のさらなる安全対策と、利便性の向上を!

令和3年に、県立四季の森公園のトイレで事件があり、青少年育成条例違反での逮捕者が出ました。不審者など人に注目する「犯罪原因論」に対し、場所に着目する「犯罪機会論」の視点では、「入りやすく、見えにくい場所」が犯罪を誘発するとされます。緑区選出の古賀県議がこの視点で一般質問を行い、私も補助者を務めました。県立公園の安全性向上に向け、引き続き取り組みます。

また、県立公園への期待として、ドッグランやスケートボード・インラインスケート等の利用スペースを望む声もいただきます。公民連携(Park-PFI)でBBQ場が整備された県内事例もあります。今後も地域の声を反映させてまいります。



▲以前、四季の森公園の稲刈りに参加。今年度は、PTA会長としてこども自然公園で稲刈り体験のお手伝いをしました。



Yokohama City Minamihonjuku Elementary School 46th

MINAHON



◀公園は大切な地域資源です。地元の小学校では、毎年、こども自然公園(大池公園)で水田作業を行っています。今年度はお米のキャラクターをモチーフにした記念品を作成し、私がデザインを担当しました。

「レシ活VALUE」第2弾実施、横浜市長に直接改善策を提案!

2023年1月より、横浜市のレシートを活用した経済支援策、「レシ活VALUE」が再開されます。食料品や日用品などを購入したレシートを、アプリ等を通じて投稿していただくことで、利用金額の最大20%が還元されるという事業です。1回あたりの還元上限額は400円で、一人あたり1万2千円まで還元が受けられます。



前回実施時は予定より早く予算を消化したものの、活用している世代や利用者層に偏りがあったことは課題と考えます。税金を原資とする以上、本来は公平に施策が浸透しなければなりません。

本県でも非接触型のキャッシュレス決済促進事業「かながわPay」を実施していましたが、国の「GoToイート」、県の「かながわPay」、市の「レシ活チャレンジ」と類似施策が重複して実施されていました。

県も市も、ホームページ等ではそれぞれの事業しか広報していなかったため、旭区民の方に十分に周知されたのかは疑問が残ります。最大では実に4割以上もの還元を受けられたのですが、「全部は知らなかった」「手続きがわからない」「お年寄りにはどれも難しい」などのご意見をいただきました。

過日、神奈川県への予算要望で、山中竹春横浜市長と横浜市選出議員団で直接面談する機会がありました。市当局職員も同席する中、神奈川県と横浜市で情報発信において一層連携を深めていただくよう、須田から提案いたしました。

横浜市と県では「特別自治市構想」なども議論されておりますが、住民目線に立っての議論および施策の実施が何よりも重要と考えます。引き続き、提案を続けてまいります。(※レシ活VALUEについて詳細は右QRコードよりご参照ください)



コラム：神奈川の明日に種をまこう！

過日、東京都議会で、選挙中に無免許運転を繰り返した議員が、当選後に事態が発覚、追及をおそれたのか、体調不良を理由に長期に渡って議会を欠席した上、高額な報酬を受け取り続けるという事態が発生しました。

市民感覚からかけはなれており、到底認められるものではありません。税金は一円たりとも無駄に使われてはなりません。(他にも長野県議が殺人容疑で逮捕されるなど、地方議員がメディアに取り上げられる時は悪質な事件ばかりで、残念極まりありません…。)

神奈川県議会では、議会改革検討会議において、長期欠席議員の報酬を削減するよう制度改正いたしました。引き続き、市民目線の政治を貫いてまいります。

最新情報は
facebook
で発信中!



県民の声をお聞かせください!
(下記QRからメールでも送れます)

FAX:045-444-9445

声を、力に。

〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11 2F-2
TEL:045-444-9444 FAX:045-444-9445
HP:<https://www.sudakohei.net>
Eメール:sudamame.net@gmail.com



※法令を遵守し「須田こうへいの政治活動」のみ使用いたします。(須田こうへいの無政見ポスターや各種イベントのご案内を配信、郵送させていただきます)

ご意見・ご要望など	連名①	連名②	連名③
	お名前		
	フリガナ		
ご住所		TEL	
建物名		045-	
横浜市南区		FAX	
		045-	
E-mail	ご支援内容		Mobile
	<input type="checkbox"/> 県政レポート定期送付のお申込み <input type="checkbox"/> 党員・協力党員ご登録 <input type="checkbox"/> 政務活動ホスターのご掲示 <input type="checkbox"/> ボランティア・インターン生体験登録		

相模鉄道本線(鶴ヶ峰駅付近)連続立体交差事業着工式に出席!!



立体化よっての効果

踏切遮断時間の解消

鶴ヶ峰2号踏切の1日当たりの遮断時間の変化

立体化前 10.5時間/日 → 立体化後 **ゼロ!**

交通渋滞の解消

鶴ヶ峰2号踏切の最大渋滞長さの変化

立体化前 1,200m → 立体化後 **踏切による渋滞ゼロ!**

温室効果ガスの排出抑制効果

立体化前後におけるCO₂の削減量(年間)

立体化前 441,430t/年 → 立体化後 440,093t/年
約**1,337t**削減

森林1ヘクタールあたりが1年間に吸収する二酸化炭素量は約8.8tと推定されており、連立事業により削減される1,337t-CO₂/年は、森林152ヘクタール(横浜スタジアム約43個分)が1年間で吸収する二酸化炭素量に相当する。

踏切が除去されることにより、踏切を原因とする渋滞が解消し、大気汚染物質である自動車排気ガスの発生抑制にも寄与します。



鶴ヶ峰駅周辺の状況



過日、須田こうへい事務所を構えております、鶴ヶ峰駅付近の相模鉄道本線連続立体交差事業の着工式に出席してまいりました。

西谷駅西側(西川島町)から鶴ヶ峰駅近辺、二俣川駅東側(二俣川2丁目)までの2.8km区間、10箇所踏切がなくなることで、駅近辺の慢性的な渋滞が解消され、バス等の地域交通が円滑化されます。

また、街の分断もなくなり、新たなまちづくりがはじまることで地域のより一層の発展が期待されます。

さらに、踏切事故がなくなり、救急車・消防車などの緊急活動の迅速化にもつながり、住民の命とくらしを守る取り組みです。

令和5年3月にはJRに加え、相鉄・東急の直通運転が始まります。沿線地域のさらなる活性化に全力を尽くします。



料金受取人払郵便

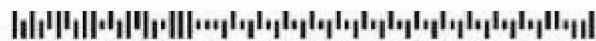
旭郵便局承認

2615

差出有効期間
2023年
6月 6日まで
(切手不要)

2 4 1 8 7 9 0

横浜市旭区鶴ヶ峰2-9-11
ビッグフィールド2F-2
須田こうへい事務所 行
FAX:045-444-9445



皆様のお声をお聞かせ下さい。(地域のお困り事、県政へのご意見など)